

請願受理番号 1

山口県の実情に見合った持続可能な医療の提供を求める
意見書の提出を求める請願

(教育民生委員会)

(要旨)

地域医療構想を進めるにあたり、機械的な病床削減を行わず、地域の医療の実情に配慮するとともに住民の声に十分耳を傾けることを、国へ意見書としてご提出をお願いいたします。

(理由)

2019年9月26日、厚生労働省は、自治体が運営する公立病院と国立病院機構など公的機関等が運営する公的病院の4分の1超にあたる全国424の病院をリストアップし、「再編統合について特に議論が必要」とする分析結果とともに対象となる病院名の公表を行いました。これは、2017年度の報告データを基に、①「診療実績が少ない」②「他の医療機関と競合している」などの分析を行い、2020年までに統廃合・再編・ベッド縮小などの計画を具体化することを求めたものです。

このリストには小郡第一総合病院をはじめとする県内13の施設が含まれています。小郡第一総合病院は年間救急受付が850件あり、地域の重要な拠点病院です。

厚生労働省の「要請」に基づいて再編・統合が進められれば、地域での医療を必要とする患者・住民が、安全で質の高い医療を受けることができなくなるのではないかと、大変心配しています。また、医師や看護師などの医療従事者の不安を増大させ、離職・退職の加速や新規採用をいっそう困難にすることも懸念されます。さらには、住民の皆様から不安の声が多数あがっています。

今回公表された公立・公的病院は、住民が安心して地域で住み続けるために必要な医療機関であり、必要な病床です。新型コロナウイルス感染者を治療できる病院も含まれています。

小郡第一総合病院を含む県内13病院のリストと「再検証」の要請については、山口県の実情を踏まえ、住民が真に必要なとする医療体制の構築を図って持続可能で安全・安心の医療を実現する立場から、地方自治法第99条にもとづき国に対する意見書を提出していただけるようお願いいたします。

令和2年6月8日

提出者

山口市八幡馬場53-1

山口赤十字病院内

山口県医療労働組合連合会

執行委員長 萩原秀樹

紹介議員 大田たける

紹介議員 西村芳和

紹介議員 尾上頼子

山口市議会議長

坂井芳浩様